



令和5年度化学系学協会東北大会

および日本化学会東北支部80周年記念国際会議

International Symposium for the 80th Anniversary of
the Tohoku Branch of the Chemical Society of Japan
(2023 Joint Meeting of the Tohoku Area Chemistry Societies)

化学教育研究協議会東北大会

報告書

- 会 期 2023年9月8日(金)～10日(日)
- 会 場 東北大学青葉山コモンズ 〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1
川内萩ホール 〒980-8576 仙台市青葉区川内 40
- 主 催 日本化学会東北支部
- 共 催 高分子学会東北支部、日本分析化学会東北支部
化学工学会東北支部、有機合成化学協会東北支部
電気化学会東北支部、日本材料学会東北支部
繊維学会東北北海道支部、無機マテリアル学会北部支部
分子科学会東北地区、日本セラミックス協会東北北海道支部
日本接着学会東北・北海道支部
高等学校文化連盟全国自然科学専門部
東北大学統合化学国際共同大学院、東北大学
- 協 賛 一般財団法人青葉工学振興会、
公益財団法人インテリジェント・コスモス学術振興財団、
コニカミノルタ科学技術振興財団、公益財団法人仙台観光国際協会、
公益財団法人徳山科学技術振興財団、公益財団法人吉田科学技術財団
- 後 援 青森県教育委員会、秋田県教育委員会、岩手県教育委員会
宮城県教育委員会、山形県教育委員会、福島県教育委員会
仙台市教育委員会

International Symposium for the **80th** Anniversary of the Tohoku Branch of the Chemical Society of Japan

2023 Joint Meeting of
the Tohoku Area Chemistry Societies

September
8th–10th,
2023

Held in a hybrid mode (online and in-person)

On-site venue: Tohoku University

Organized by

The Tohoku Branch of the Chemical Society Japan

Co-organized by

Tohoku Branch, The Society of Polymer Science, Japan (SPSJ)
The Japan Society for Analytical Chemistry, Tohoku Branch
Tohoku Branch, The Society of Chemical Engineers, Japan
Tohoku Branch of the Society of Synthetic Organic Chemistry, Japan
Tohoku Branch of the Electrochemical Society of Japan
The Tohoku Branch of the Society of Materials Science, Japan (JSMS–Tohoku)
Tohoku-Hokkaido Branch, The Society of Fiber Science and Technology, Japan
Northern Chapter, The Society of Inorganic Materials, Japan
Tohoku Branch of Japan Society for Molecular Science
Tohoku-Hokkaido Branch of the Ceramic Society of Japan
Tohoku-Hokkaido Branch of the Adhesion Society of Japan
All Japan NATURAL SCIENCE Department, Senior High School Culture Clubs Federation
Graduate Program in Integrated Chemistry, Tohoku University
Tohoku University

Sponsors

Aoba Foundation for the Promotion of Engineering; Intelligent Cosmos Academic Foundation
Konica Minolta Science and Technology Foundation; Sendai Tourism, Convention and International Association
Tokuyama Science Foundation; Yoshida Foundation for Science and Technology

Contact us



The Tohoku Branch of
the Chemical Society of Japan

Department of Chemistry, Faculty of Science, Tohoku University,
6-3 Aza-Aoba, Aramaki, Aoba-ku, Sendai, Miyagi 980-8578, Japan
Phone : 022-224-3883 E-Mail: nikka.tohoku@chemistry.or.jp
URL: <https://tohoku.chemistry.or.jp/e-taikai.html>

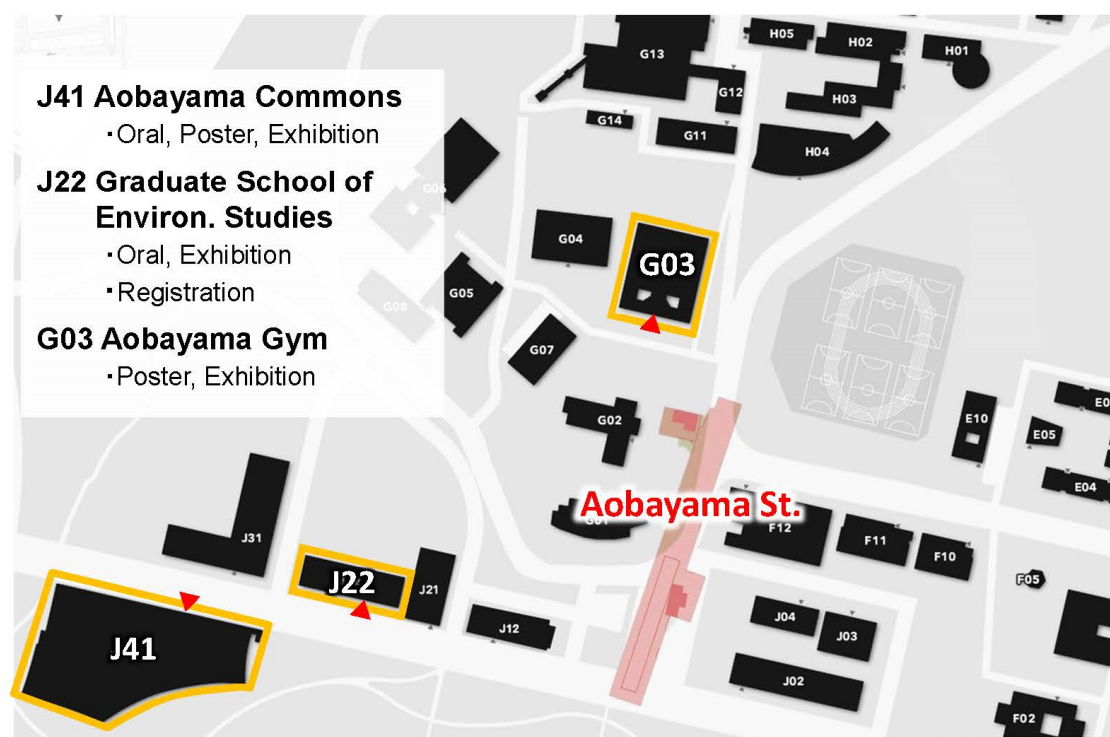
日本化学会東北支部支部長
富重圭一（東北大院工・教授）

日本化学会東北支部副支部長・化学教育協議会議長
森田明弘（東北大院理・教授）

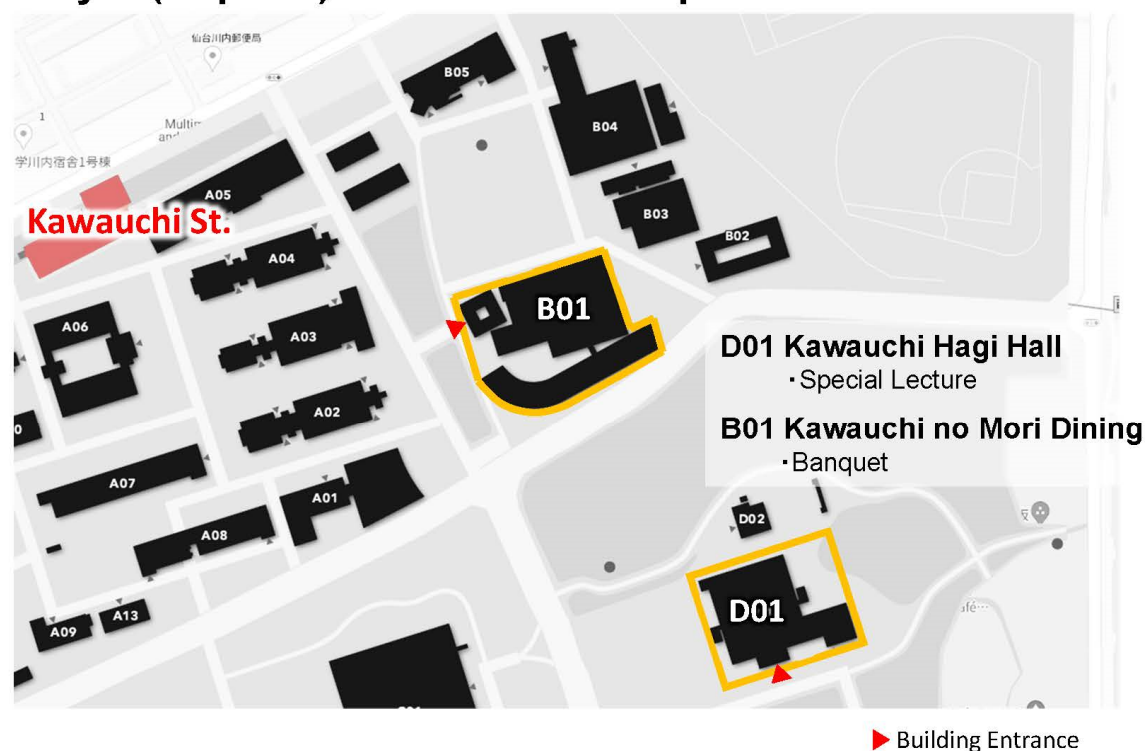
日本化学会東北支部副支部長・東北大会実行委員長
林雄二郎（東北大院理・教授）

Campus Map

➤ Day 1 (Sep. 8th), Day 3 (Sep. 10th) : Aobayama Campus

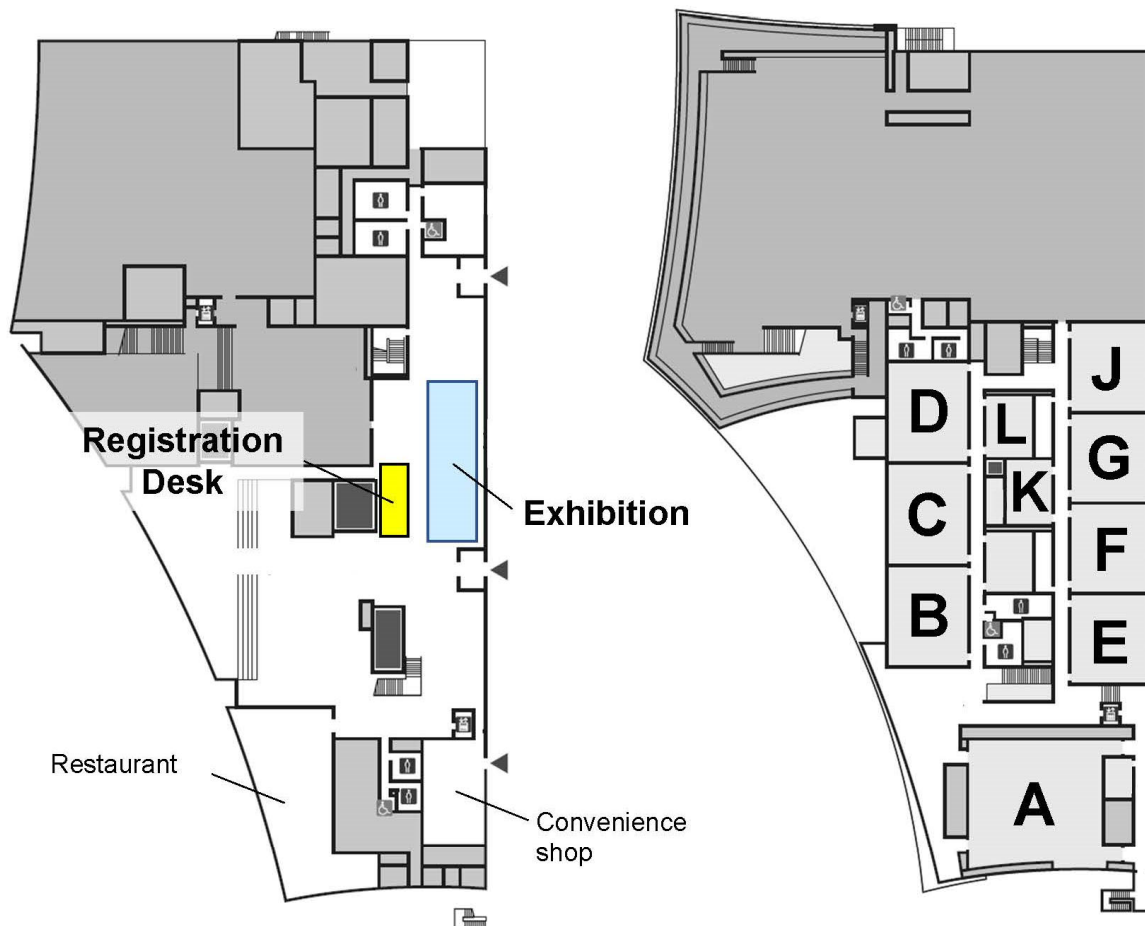


➤ Day 2 (Sep. 9th) : Kawauchi Campus



Floor Map

➤ Aobayama Commons (J41)



1st Floor

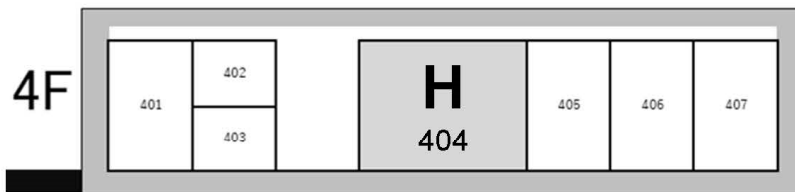
- Exhibition
- Registration Desk

2nd Floor

- Room A
- Room B
- Room C
- Room D
- Room E
- Room F
- Room G
- Room J
- Room K
- Room L

Floor Map

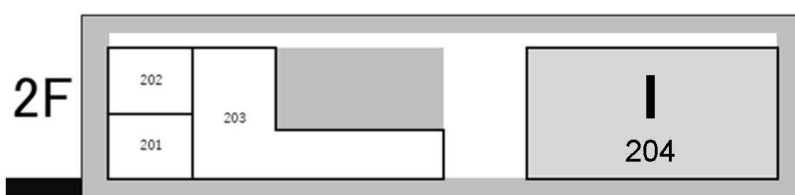
➤ Grad. Sch. of Environmental Studies (J22)



4th Floor

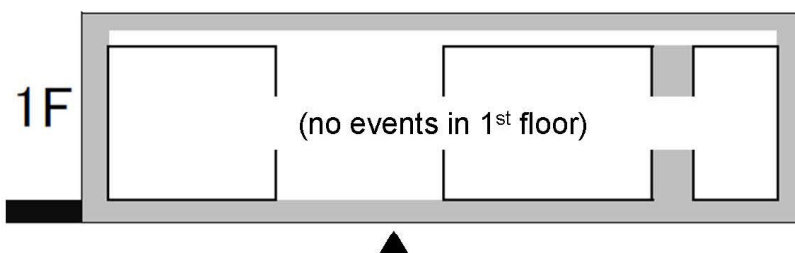
- Room H (404)

(no events in 3rd floor)



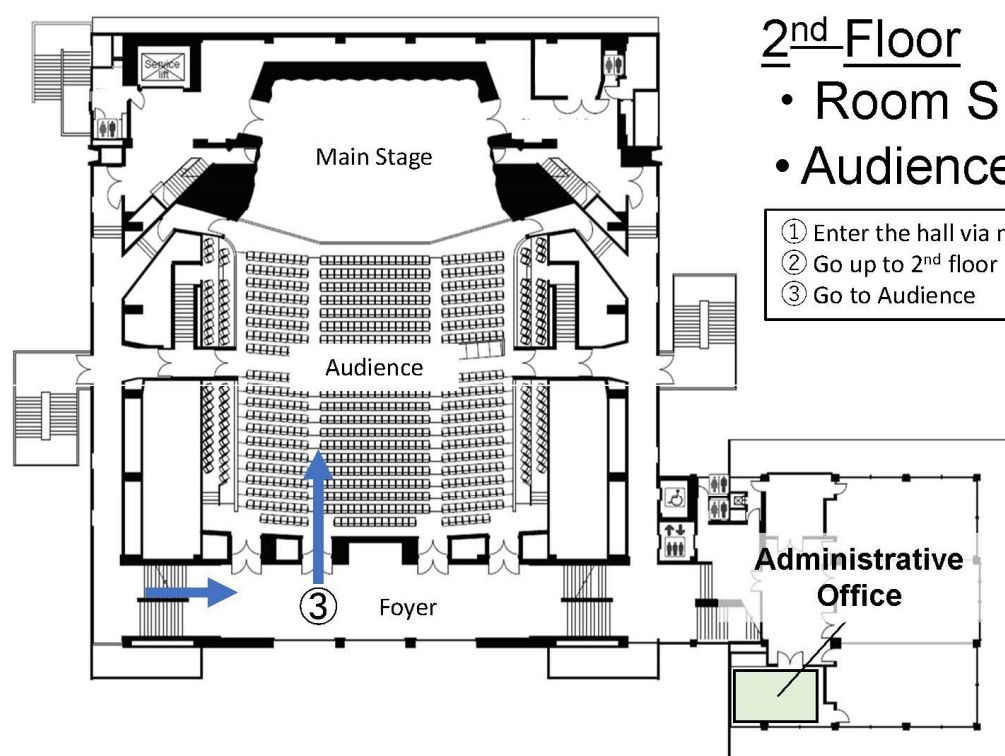
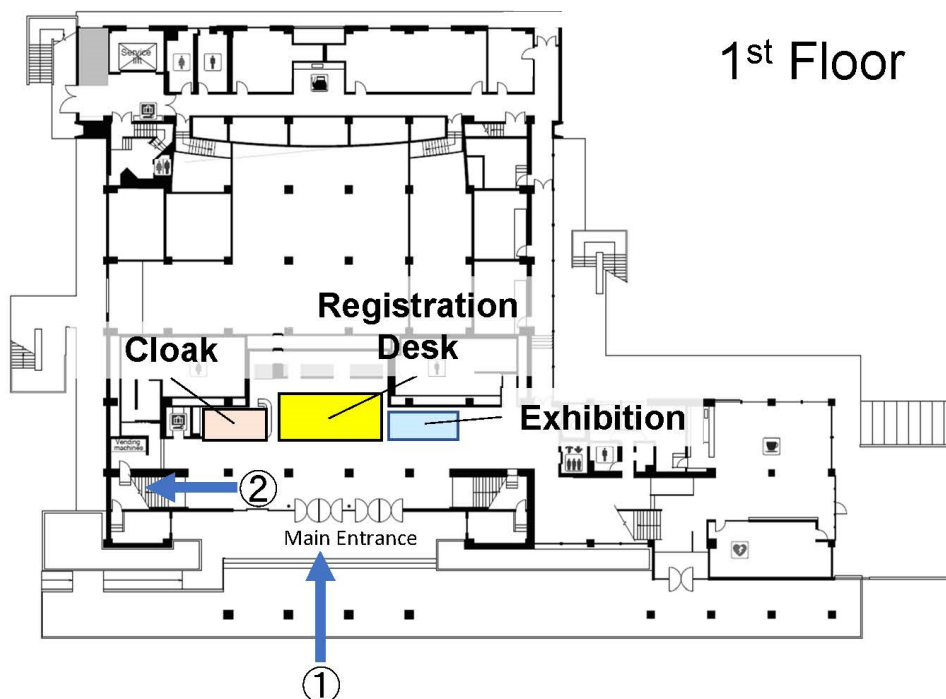
2nd Floor

- Room I (204)



Floor Map

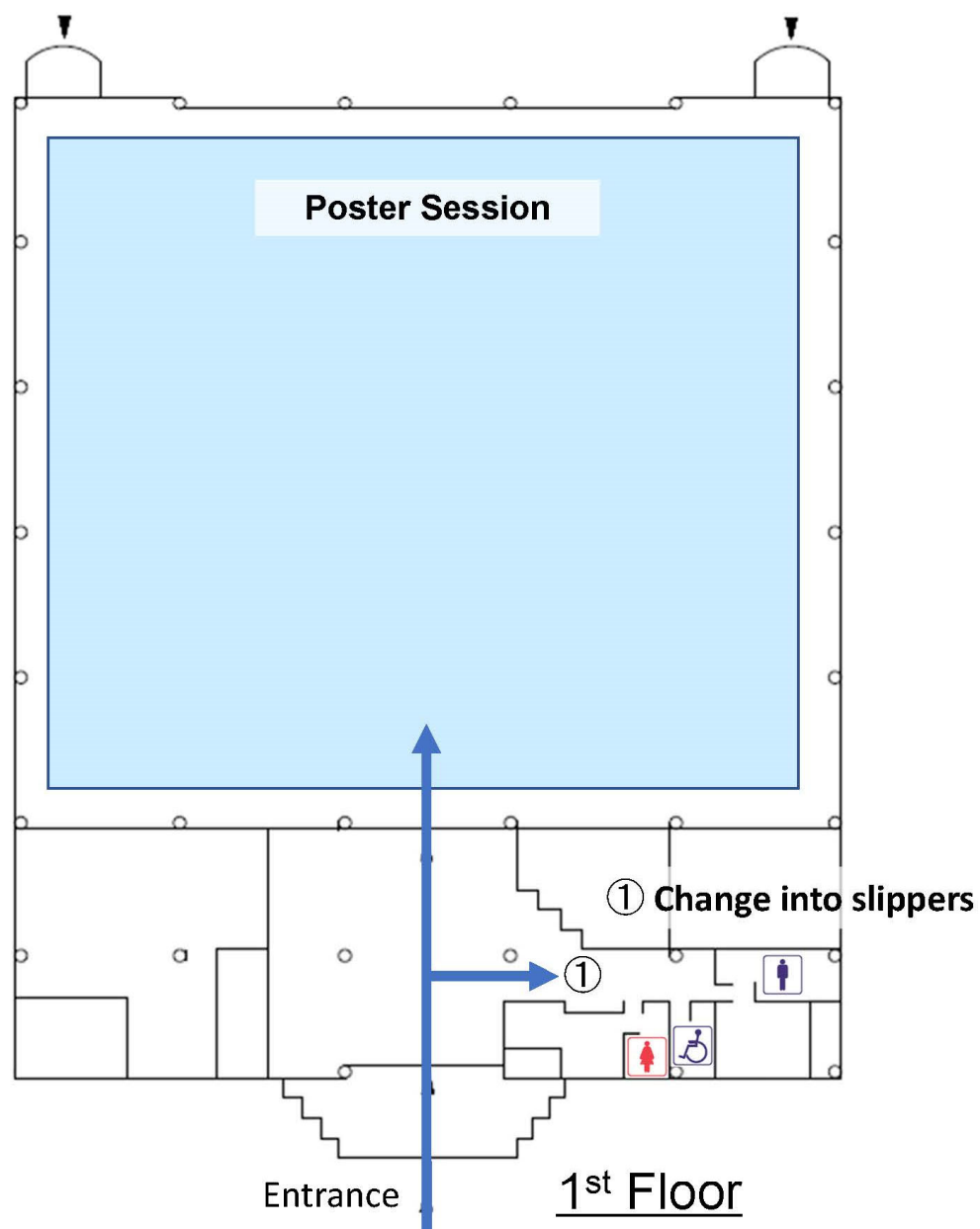
➤ Kawauchi Hagi Hall (D01)



- ① Enter the hall via main entrance
- ② Go up to 2nd floor
- ③ Go to Audience

Floor Map

➤ G03 Aobayama Gym (Room P)



• Poster Session

-  Men's restroom
-  Women's restroom
-  Universal Access restroom

Schedule and Location

➤Day 1 (Sep. 8th) : Aobayama Campus

Bld.	Room		Events
J41	A	Lecture hall	Organic Chemistry
J41	B	Lecture room 1	Colloquium of Physical Chemistry
J41	C	Lecture room 2	(A.M.) Materials Chemistry and Adhesion (P.M.) Inorganic and Ceramic Materials
J41	D	Lecture room 3	Young Chemist Symposium
J41	E	Lecture room 4	Nanomaterials Colloquium
J41	F	Lecture room 5	Process Technologies and Systems Design for Green Chemistry
J41	G	Lecture room 6	–
J22	H	Lecture room 1 (404)	Analytical Chemistry
J22	I	Lecture hall (204)	Macromolecules for Pharmaceuticals
J41	J	Lecture room 7	<open space for participants>
J41	K	Lecture room 9	Administrative office
J41	L	Lecture room 10	Cloak
J41	Entrance Hall Learning Commons		Registration, Exhibition
G03	P	Aobayama Gym	Poster Session

➤Day 2 (Sep. 9th) : Kawauchi Campus

Bld.	Room		Events
D01	S	Kawauchi Hagi Hall	Special Lecture
B01	Kawauchi no Mori Dining		Banquet

Schedule and Location

➤Day 3 (Sep. 10th) : Aobayama Campus

Bld.	Room	Events
J41	A Lecture hall	Organic Chemistry
J41	B Lecture room 1	Physical Chemistry
J41	C Lecture room 2	Inorganic and Ceramic Materials
J41	D Lecture room 3	Catalytic Chemistry for Carbon Neutrality
J41	E Lecture room 4	Nanomaterials Colloquium
J41	F Lecture room 5	Chemical Education
J41	G Lecture room 6	Electrochemistry
J22	H Lecture room 1 (404)	Polymers and Environment
J22	I Lecture hall (204)	Next Generation Nanodevices and Polymeric Materials
J41	J Lecture room 7	<open space for participants>
J41	K Lecture room 9	Administrative office
J41	L Lecture room 10	Cloak
J41	Entrance Hall Learning Commons	Registration, Exhibition
G03	P Aobayama Gym	Poster Session

目 次

1. はじめに
2. 東北大会報告
 - 2.1 運営と令和4年度大会からの変更点
 - 2.2 広告掲載・ブース出展企業
 - 2.3 参加者数
 - 2.4 講演発表件数およびプログラム
 - 2.5 懇親会
 - 2.6 優秀ポスター賞授賞式・閉会式
3. おわりに

2. はじめに

令和 5 年度化学系学協会東北大会及び日本化学会東北支部 80 周年記念国際会議は 9 月 8 日（金）～10 日（日）、仙台市の東北大学を会場として開催されました。仙台市での開催は平成 25 年以来となりました。コロナ禍であったような行動制限がない大会を開催しました。また、オンライン聴講のニーズを考慮して、特別講演や一般講演などは対面だけでなくオンラインで聴講できるようにしました。80 周年の記念大会であるため、本年度は国際会議として開催しました。さらに、統合化学国際共同大学院（GP-Chem）と共催することで海外からの多数の講演者を招待しました。海外からの参加があるため台風の動きを心配していましたが、結果的に大きな影響はなく、滞りなく開催することができました。

本大会は多数の協賛企業からご支援を賜り、東北各県を中心に多数の参加者を迎えることができました。合計 855 名の参加者および発表数 521 件の規模で開催することができました。前年度に比べて参加者数および発表件数ともに大幅に増加しており、国際会議を銘打って行ったことが主な理由と考えています。また、従来のポスター賞に加え、特に優秀なポスター発表には RSC 賞を授与しました。RSC 賞として英国王立化学会が発行する各分野の雑誌の名前が付いた賞を準備し、英語での活発な討論が行われました。

初日午前から 3 日目午後の閉会式まで多数の皆様にご参加いただき、東北大会を成功裏に開催できたことを心より御礼申し上げます。

2. 東北大会報告

2.1 運営と令和 4 年度大会からの変更点

本大会は、東北大会では初となるハイブリッド開催を行った。

1) 開催方法：対面およびオンライン（zoom）

2) web 化

- ・講演予稿集は令和 2 年度以降 web での公開としているため、紙媒体の印刷はされなかった。
- ・大会当日に会場案内、各セッションプログラム、広告等を掲載した「プログラム集」の配布を行った。
- ・事前から当日受付まで、すべての支払いをクレジット払いのみとし、現金の取り扱いはなしとした。
- ・領収書および参加証は web で発行し、当日対面での受け渡しは行わなかった。

3) 懇親会開催

懇親会は、4 年ぶりに立食での開催を行った。

4) 広告募集

予稿集掲載 23 社、ブース出展 8 社、バナー広告 23 社の応募があった。

5) ポスター賞受賞者発表

例年通りのポスター賞に加え、特に優秀なポスター発表には RSC 賞を授与し、後日賞状・副賞が贈られた。受賞者発表は閉会式で行った。

なお、これらの変更点も含めて、大会の基本情報、会場案内、大会タイムテーブル、一般ポスター発表申込、予稿原稿のアップロード、事前参加申込、詳細プログラム、懇親会の案内などは東北大会 HP 上に適宜、掲示した。

<http://tohoku.chemistry.or.jp/taikai.html>

<http://tohoku.chemistry.or.jp/kakyo.html>

2.2 広告掲載・ブース出展企業

「web 講演予稿集広告掲載」および「ブース出展企業」は以下の通りである。また、申込企業に支部 HP へのバナー広告掲載について確認し、希望があった企業のバナー広告を掲載した。

予稿集広告掲載：マイクロトラック・ベル株式会社、マジェリカ・ジャパン株式会社、
(23 社) CEM Japan 株式会社、HIRO COMPANY、三菱ガス化学株式会社、
東北化学薬品株式会社仙台支店、エヌ・イーエムキャット株式会社、
株式会社アイシン、千代田化工建設株式会社、矢澤科学器械株式会社、
東京理化学器械株式会社、株式会社島津製作所、大塚電子株式会社、
株式会社クレハ、株式会社東栄科学産業、日本電子株式会社、
株式会社アオバサイエンス、株式会社ダイセル、三井化学株式会社、
仙台和光純薬株式会社、東京化成工業株式会社、日本製鉄株式会社、
Royal Society of Chemistry

企業ブース展示：株式会社 DJK、マイクロトラック・ベル株式会社
(9 社) 株式会社アントンパール・ジャパン、株式会社オプトスター、
テクノ・モリオカ株式会社、Triplet R&D 株式会社、
東北電子産業株式会社、株式会社クレハ、Royal Society of Chemistry

バナー広告掲載：株式会社 DJK、マイクロトラック・ベル株式会社、
(23 社) 東京理化学器械株式会社、マジェリカ・ジャパン株式会社、
大塚電子株式会社、CEM Japan 株式会社、株式会社クレハ、
株式会社オプトスター、株式会社東栄科学産業、日本電子株式会社、
HIRO COMPANY、株式会社アオバサイエンス、三菱ガス化学株式会社、
株式会社ダイセル、東北化学薬品株式会社仙台支店、
テクノ・モリオカ株式会社、三井化学株式会社、
エヌ・イーエムキャット株式会社、株式会社アイシン、
Triplet R&D 株式会社、千代田化工建設株式会社、日本製鉄株式会社、
Royal Society of Chemistry

(順不同)

2.3 参加者数

会期中の参加者数（来場者数）は以下の通りである。

表 2.3-1 大会参加者数

	一般	化学教育 ※	大学院生	高校生 高専生 学部生	招待	小計
事前登録	247 名	16 名	385 名	112 名	31 名	791 名
当日登録	28 名	3 名	11 名	20 名	2 名	64 名
合計	275 名	19 名	396 名	132 名	33 名	<u>855 名</u>

※化学教育協議会会員及び小・中・高校教員

【表 2.3-2 R05 地域別参加者集計結果（東北 6 県）】

県・所属			一般	学生	招待
青森県					
	/計	35 名			
弘前大学			9	11	0
八戸工業高等専門学校			1	2	0
八戸工業大学			2	0	0
八戸工業大学第二高等学校			1	9	0
岩手県					
	/計	47 名			
岩手大学			12	32	0
岩手医科大学			1	0	0
岩手県立水沢高等学校			1	0	0
岩手中・高等学校			1	0	0
宮城県					
	/計	509 名			
東北大学			135	308	5
東北工業大学			5	6	0
東北医科薬科大学			4	0	0
東北生活文化大学			1	5	0
産業技術総合研究所（仙台）			2	0	0
宮城教育大学			3	7	0
仙台高等専門学校			1	0	0
宮城県仙台第一高等学校			0	4	0
宮城県仙台第三高等学校			2	8	0
宮城県宮城第一高等学校			1	0	0
仙台青陵中等教育学校			1	4	0
仙台市立仙台工業高等学校			1	0	0
宮城県名取北高等学校			1	0	0
東北電子産業株式会社			0	0	2
Triplet R&D 株式会社			2	0	0
natural science			0	0	1
秋田県					
	/計	26 名			
秋田大学			13	11	0
秋田工業高等専門学校			1	1	0
山形県					
	/計	101 名			
山形大学			24	76	0
鶴岡工業高等専門学校			1	0	0
福島県					
	/計	62 名			
日本大学			11	28	0
福島大学			3	6	0
福島工業高等専門学校			1	1	0
福島県立医科大学			3	1	0
産業技術総合研究所（郡山）			1	0	0
福島県立原町高等学校			1	0	0
東京電機大学			0	3	0
信州大学大学院			0	3	0
東北 6 県小計			246	526	8

【表 2.3-3 R05 地域別参加者集計結果（東北以外）】

県・所属			一般	学生	招待
北海道 /計 1 名					
北海道大学			1	0	0
東京都 /計 14 名					
東京大学			2	0	0
東京農工大学			2	0	0
東京理科大学			1	0	0
早稲田大学			1	0	0
東京学芸大学			1	0	0
星薬科大学			1	0	0
筑波大学附属桐が丘特別支援学校			2	0	0
東京工業高等専門学校			1	0	0
日本パーカライジング株式会社			1	0	0
日本化学会			0	0	1
Royal Society of Chemistry (Japan)			0	0	1
神奈川県 /計 5 名					
慶應義塾大学			2	0	0
東京工業大学			1	0	0
清泉女学院中学高等学校			1	0	0
株式会社 DJK			1	0	0
千葉県 /計 1 名					
千葉工業大学			1	0	0
埼玉県 /計 2 名					
RIKEN			1	0	0
Shibaura Institute of Technology			1	0	0
茨城県 /計 6 名					
産業技術総合研究所（つくば）			2	0	0
私立茗溪学園中学校高等学校			1	0	0
日本原子力研究開発機構			1	0	0
株式会社レゾナック			1	0	0
Eisai Co., Ltd.			1	0	0
群馬県 /計 1 名					
群馬大学			1	0	0
新潟県 /計 3 名					
新潟大学			0	1	0
長岡技術科学大学			1	0	1
富山県 /計 1 名					
富山大学			1	0	0
愛知県 /計 2 名					
名古屋大学			2	0	0
京都府 /計 3 名					
京都大学			3	0	0

大阪府		/計		4 名	
大阪大学			2	0	0
大阪公立大学			2	0	0
兵庫県		/計		2 名	
甲南大学			1	0	0
RIKEN			1	0	0
福岡県		/計		3 名	
九州大学			3	0	0
長崎県		/計		1 名	
長崎大学			1	0	0
大分県		/計		1 名	
大分県立上野丘高等学校			0	1	
		東北以外参加者小計		45	2 3

【表 2.3-4 R05 地域別参加者集計結果（海外）】

県・所属			一般	学生	招待
アメリカ /計 3 名					
Yale University			0	0	1
Wake Forest University			0	0	1
California Institute of Technology			0	0	1
中国 /計 8 名					
Xi'an University of Science and Technology			0	0	1
Tsinghua University			0	0	1
Nanjing University of Aeronautics and Astronautics			0	0	1
Chinese Academy of Sciences			0	0	1
Yanshan University			0	0	1
Peking University, China			0	0	1
張江実験室			0	0	1
Jinan University			0	0	1
台湾 /計 2 名					
國立陽明交通大學			0	0	1
National Taiwan University			0	0	1
韓国 /計 6 名					
Seoul National University			0	0	1
Kyung Hee University			2	0	1
Sungkyunkwan University			0	0	1
Pohang University			0	0	1
インド /計 1 名					
Indian Institute Technology Bombay			0	0	1
インドネシア /計 1 名					
University of Indonesia			0	0	1
イギリス /計 1 名					
University of Edinburgh			0	0	1
ポーランド /計 1 名					
Polish Academy of Sciences			0	0	1
オーストラリア /計 1 名					
Flinders University			0	0	1
フランス /計 1 名					
INSA Lyon, CNRS			0	0	1
海外参加者小計			2	0	23
合計			293	528	34

参加者合計 855名

2.4 講演発表件数及びプログラム

【表 2.4-1 R05 特別講演・招待講演・依頼講演・一般口頭発表件数】

セッション名	特別講演	招待講演	依頼講演	口頭発表
特別講演	8			
有機化学セッション/ 有機化学コロキウム		5	12	
物理化学コロキウム		2	5	
物理化学セッション		2	10	
接着化学セッション		2		
材料化学セッション		2		
無機化学セッション		3		
セラミックス化学セッション		1		
若手シンポジウム			4	
実行委員会特別企画		3	9	
ナノマテリアルコロキウム			5	
化学工学セッション		3		
電気化学セッション		1	3	
分析・環境化学セッション		3	11	
高分子化学セッション/ 繊維化学セッション/ 生体分子セッション/ 高分子コロキウム		8	8	
化学教育セッション		1	1	6
小計	8	36	68	6

口頭発表合計 118 件

【表 2.4-2 R05 ポスター発表件数】

分野	審査希望	審査なし
A：無機・分析・環境化学	51	8
B：物理化学	36	2
C：有機化学	112	25
D：化学工学	43	1
E：高分子・繊維化学	38	10
F：材料化学	36	9
G：電気化学	22	3
H：化学教育	8	0
小計	346	58

ポスター発表合計 404 件

発表件数合計 522件

【表 2.4-3 R05 地域別講演者集計結果（東北 6 県）】

県・所属		一般	学生	招待
青森県 /計 16 名				
弘前大学		4	9	0
八戸工業高等専門学校		1	1	0
八戸工業大学第二高等学校		0	1	0
岩手県 /計 30 名				
岩手大学		2	27	0
岩手医科大学		1	0	0
宮城県 /計 285 名				
東北大学		34	222	5
東北工業大学		1	4	0
東北医科薬科大学		2	0	0
東北生活文化大学		5	0	0
産業技術総合研究所（仙台）		1	0	0
宮城教育大学		2	1	0
宮城県仙台第一高等学校		0	1	0
宮城県仙台第三高等学校		0	4	0
宮城県宮城第一高等学校		0	0	0
仙台青陵中等教育学校		0	1	0
宮城県名取北高等学校		1	0	0
natural science		0	0	1
秋田県 /計 15 名				
秋田大学		3	11	0
秋田工業高等専門学校		0	1	0
山形県 /計 71 名				
山形大学		6	64	0
鶴岡工業高等専門学校		1	0	0
福島県 /計 41 名				
日本大学		2	23	0
福島大学		1	5	0
福島工業高等専門学校		1	0	0
福島県立医科大学		2	1	0
東京電機大学		0	3	0
信州大学大学院		0	3	0
東北 6 県 小計		70	382	6

【表 2.4-4 R05 地域別講演者集計結果（東北以外）】

県・所属		一般	学生	招待
北海道 /計 1 名				
北海道大学		1	0	0
東京都 /計 9 名				
東京大学		2	0	0
東京農工大学		1	0	0
東京理科大学		1	0	0
早稲田大学		1	0	0
東京学芸大学		1	0	0
星薬科大学		1	0	0
筑波大学附属桐が丘特別支援学校		1	0	0
日本化学会		0	0	1
神奈川県 /計 4 名				
慶應義塾大学		2	0	0
東京工業大学		1	0	0
清泉女学院中学高等学校		1	0	0
埼玉県 /計 1 名				
RIKEN		1	0	0
茨城県 /計 4 名				
産業技術総合研究所（つくば）		1	0	0
日本原子力研究開発機構		1	0	0
株式会社レゾナック		1	0	0
Eisai Co., Ltd.		1	0	0
群馬県 /計 1 名				
群馬大学		1	0	0
新潟県 /計 2 名				
新潟大学		0	1	0
長岡技術科学大学		0	0	1
富山県 /計 1 名				
富山大学		1	0	0
愛知県 /計 2 名				
名古屋大学		2	0	0
京都府 /計 3 名				
京都大学		3	0	0
大阪府 /計 4 名				
大阪大学		2	0	0
大阪公立大学		2	0	0
兵庫県 /計 1 名				
甲南大学		1	0	0
RIKEN		1	0	0
福岡県 /計 3 名				
九州大学		3	0	0
長崎県 /計 1 名				
長崎大学		1	0	0
東北以外 小計		35	1	2

【表 2.4-5 R05 地域別講演者集計結果（海外）】

県・所属			一般	学生	招待	
アメリカ /計 3 名						
Yale University			0	0	1	
Wake Forest University			0	0	1	
California Institute of Technology			0	0	1	
中国 /計 8 名						
Xi'an University of Science and Technology			0	0	1	
Tsinghua University			0	0	1	
Nanjing University of Aeronautics and Astronautics			0	0	1	
Chinese Academy of Sciences			0	0	1	
Yanshan University			0	0	1	
Peking University, China			0	0	1	
張江実験室			0	0	1	
Jinan University			0	0	1	
台湾 /計 3 名						
國立陽明交通大學			0	0	1	
National Taiwan University			0	0	2	
韓国 /計 6 名						
Seoul National University			0	0	1	
Kyung Hee University			2	0	1	
Sungkyunkwan University			0	0	1	
Pohang University			0	0	1	
インド /計 1 名						
Indian Institute Technology Bombay			0	0	1	
インドネシア /計 1 名						
University of Indonesia			0	0	1	
イギリス /計 1 名						
University of Edinburgh			0	0	1	
ポーランド /計 1 名						
Polish Academy of Sciences			0	0	1	
オーストラリア /計 1 名						
Flinders University			0	0	1	
フランス /計 1 名						
INSA Lyon, CNRS			0	0	1	
			海外参加者小計	2	0	24
合計			107	383	32	

講演件数合計 522件

令和 5 年度 化学系学協会東北大会 日程表

Sep. 8th (Fri.)	Room A	Room B	Room C	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H	Room I	Room J
8. AM	Organic Chemistry	Colloquium of Physical Chemistry	Materials Chemistry and Adhesion	Young Chemist Symposium		Process Technologies and Systems Design for Green Chemistry		Analytical Chemistry	Macromolecules for Pharmaceuticals	<open space for participants>
	10:00 ~ 12:00	10:00 ~ 11:40	10:00 ~ 12:00	11:00 ~ 11:30		10:00 ~ 12:00		10:00 ~ 11:55	10:00 ~ 12:00	
Lunch										
8. PM	Organic Chemistry	Colloquium of Physical Chemistry	Inorganic and Ceramic Materials	Young Chemist Symposium	Nanomaterials Colloquium			Analytical Chemistry	Macromolecules for Pharmaceuticals	<open space for participants>
	13:00 ~ 15:00	13:00 ~ 15:20	13:00 ~ 14:15	13:00 ~ 14:40	13:00 ~ 14:30			13:00 ~ 15:00	13:00 ~ 15:00	
	Poster Session I (Aobayama Gymnasium)									
	15:15 ~ 16:45									
Sep. 9th (Sat.)	Room S (Kawauchi Hagí Hall (Centennial Hall))									
9. AM	Special Lecture									
	9:20 ~ 11:50									
9. PM	Lunch									
	Special Lecture									
	12:50 ~ 18:10									
9. evening	Banquet (18:30 ~ 20:30) (Kawauchi no Mori Dining, Kitchen Terrace Couleur)									
Sep. 10th (Sun.)	Room A	Room B	Room C	Room D	Room E	Room F	Room G	Room H	Room I	Room J
10. AM	Organic Chemistry	Physical Chemistry		Catalytic Chemistry for Carbon Neutrality		Chemical Education	Electrochemistry		Next Generation Nanodevices and Polymeric Materials	<open space for participants>
	10:00 ~ 12:00	10:00 ~ 12:00		10:00 ~ 12:30		9:30 ~ 12:15	10:00 ~ 12:00		10:00 ~ 12:00	
10. PM	Lunch									
	Poster Session II (Aobayama Gymnasium)									
	13:00 ~ 14:30									
	Organic Chemistry	Physical Chemistry	Inorganic and Ceramic Materials	Catalytic Chemistry for Carbon Neutrality	Nanomaterials Colloquium			Polymers and Environment	Next Generation Nanodevices and Polymeric Materials	<open space for participants>
	14:45 ~ 16:45	14:45 ~ 16:45	14:45 ~ 15:10	14:15 ~ 16:45	14:45 ~ 15:45			14:45 ~ 16:45	14:45 ~ 16:45	
	Closing Ceremony, Room A + Online									
	16:55 ~									

Special Lecture

Sep. 9th (Sat.) 9:20 - 18:10

Room S (Kawauchi Hagi Hall)

9:20 - 9:25

Opening Remark from Chair of International Symposium for 80th Anniversary of the Tohoku Branch of the Chemical Society of Japan

Yujiro Hayashi (Tohoku University)

9:25 - 9:50 Chaired by Fuminori Misaizu (Tohoku University)

Hiroshi Fukumura (Professor Emeritus, Tohoku University)

“The Dawn of Chemistry Research at Tohoku University”

9:50 - 10:45 Chaired by Akihiro Morita (Tohoku University)

Yoshie Ohkusa (natural science, incorporated nonprofit organization)

“Nurturing inquisitive minds for a vibrant society ~A cycle of innovation born locally fueling local education~”

10:55 - 11:50 Chaired by Takehiko Wada (Tohoku University)

Young-Tae Chang (Pohang University of Science and Technology) ★GP-Chem

“Distinction of live cells using fluorescent probes”

11:50 - 12:50

Lunch

12:50 - 13:45 Chaired by Tomoyuki Akutagawa (Tohoku University)

Neil Robertson (University of Edinburgh) ★GP-Chem

“Our Solar-Powered Future”

13:55 - 14:50 Chaired by Yoshiharu Iwabuchi (Tohoku University)

Martin G. Banwell (Jinan University) ★GP-Chem

“Adventures of an Australian Organic Chemist in China - East Meets West and Vice Versa”

15:00 - 15:55 Chaired by Keiichi Tomishige (Tohoku University)

Kevin C.-W. Wu (National Taiwan University)

“Highly Ordered Nanoporous Materials: Synthesis and Applications”

16:05 - 17:00 Chaired by Toshiaki Yoshioka (Tohoku University)

Hiroaki Suga (The University of Tokyo. President of the Chemical Society of Japan)

“Therapeutics of Pseudo-Natural Peptides and NeoBiologics”

17:10 - 18:05 Chaired by Yujiro Hayashi (Tohoku University)

Brian M. Stoltz (California Institute of Technology) ★GP-Chem

“Natural Products as a Driving Force for Basic and Translational Science”

18:05 - 18:10

Brief Remark from Branch Chair of the Tohoku Branch of the Chemical Society of Japan

Keiichi Tomishige (Tohoku University)

★…Graduate Program in Integrated Chemistry, Tohoku University

Organic Chemistry
Sep. 8th - Sep. 10th, 2023
Room A

Chaired by Tetsutaro Hattori (Tohoku Univ.), Shinichi Kondo (Yamagata Univ.),
Takayuki Doi (Tohoku Univ.) and Yoshio Saito (Nihon Univ.)

Sep. 8th (Fri.)

10:00 - 10:45 Chaired by Tetsutaro Hattori (Tohoku University)

08A1 ○Masaya Sawamura (Hokkaido University, Japan)

“Synergistic Intermolecular Forces in Asymmetric Transition Metal Catalysis”

10:45 - 11:00 Chaired by Tetsutaro Hattori (Tohoku University)

08A2 ○Azusa Kondoh (Tohoku University, Japan)

“Synthesis of Polysubstituted Naphthofurans Based on Intramolecular
Carbometalation Strategy”

11:00 - 11:15 Chaired by Shinichi Kondo (Yamagata University)

08A3 ○Shintaro Ishida (Tohoku University, Japan)

“Dearomative Cycloaddition of N-Heteroaromatic Compounds with a Divalent
Silicon Species”

11:15 - 11:30 Chaired by Shinichi Kondo (Yamagata University)

08A4 ○Shinya Tanaka (Tohoku University, Japan)

“Friedel-Crafts-Type Reactions of Alkenes by the Combined Use of Lewis Acid and Base”

11:30 - 12:00 Chaired by Shinichi Kondo (Yamagata University)

08A5 ○Daisuke Takeuchi (Hirosaki University, Japan)

“Synthesis of Polymers with Controlled Structures by Pd-Catalyzed Chain-Walking
Polymerization”

13:00 - 13:45 Chaired by Kazuo Takimiya (Tohoku University)

08A6 ○Hidehiro Sakurai (Osaka University, Japan)

“Recent Progress in Sumanene Chemistry”

13:45 - 14:00 Chaired by Kazuo Takimiya (Tohoku University)

08A7 ○Yuichi Kitamoto (Tohoku University, Japan)

“Heteroatom-Bridge-Type Planar Triphenylboranes: Synthesis and Exploiting Lewis

14:00 - 14:15 Chaired by Takayuki Doi (Tohoku University)

08A8 ○Tetsuya Tsujihara (Iwate Medical University, Japan)

“Synthesis and Application of 1-Sulfur Functionalized [6]helicene”

14:15 - 15:00 Chaired by Takayuki Doi (Tohoku University)

08A9 ○Krishna P. Kaliappan (Indian Institute of Technology, India) ★GP-Chem

“Agonies and Ecstasies in Total Synthesis”

Sep. 10th (Sun.)

10:00 - 10:30 Chaired by Yusuke Sasano (Tohoku University)

10A1 ○Dokyoung Kim (Kyung Hee University, Korea)

“Fluorescent Probe for Biothiols and Its Clinical Applications for Real-Time Glioblastoma Visualization”

10:30 - 11:00 Chaired by Yusuke Sasano (Tohoku University)

10A2 ○Takaaki Sato (Keio University, Japan)

“Amide Group Enabling Efficient Synthesis of Alkaloids”

11:00 - 11:15 Chaired by Yoshio Saito (Nihon University)

10A3 ○Yasuhiro Meguro (Tohoku University, Japan)

“Total Synthesis of Amycolamicin, A Potent Broad-Spectrum Antibiotic”

11:15 - 12:00 Chaired by Yoshio Saito (Nihon University)

10A4 ○Shino Manabe (Hoshi University, Tohoku University, Japan)

“Expansion of Glycoscience from Organic Chemistry”

14:45 - 15:15 Chaired by Yuichi Yoshimura (Tohoku Medical and Pharmaceutical University)

10A5 ○Katsuya Tagami (Eisai Co., Ltd., Japan)

“Process Chemistry in Pharmaceutical Development”

15:15 - 15:45 Chaired by Yuichi Yoshimura (Tohoku Medical and Pharmaceutical University)

10A6 ○Taichi Kano (Tokyo University of Agriculture and Technology, Japan)

“Asymmetric Synthesis of Chiral Sulfur Compounds via Regioselective Reactions of Sulfinamides”

15:45 - 16:00 Chaired by Masaru Enomoto (Tohoku University)

10A7 ○Masaatsu Adachi, Makoto Nakanishi, Takayuki Doi (Tohoku University, Japan)

“Synthetic Study on Solanoeclepin A, a Hatching Agent of Potato Cyst Nematode”

16:00 - 16:45 Chaired by Masaru Enomoto (Tohoku University)

10A8 ○Hidetoshi Tokuyama (Tohoku University, Japan)

“Synthetic Chemistry Featuring Aerobic Oxidative Transformations Using Iron
Phthalocyanine Catalyst”

★…Graduate Program in Integrated Chemistry, Tohoku University

Colloquium of Physical Chemistry

Sep. 8th, 2023

Room B

Chaired by Takakazu Nakabayashi (Tohoku Univ.) and Norifumi Yamamoto (Chiba Tech Univ.)

Sep. 8th (Fri.)

10:00 - 10:40 **Chaired by Takakazu Nakabayashi (Tohoku University)**

08B1 ○Hirotsugu Hiramatsu (National Yang Ming Chiao Tung University, Japan)

“Hyper-Raman spectroscopy of biomolecules”

10:40 - 11:10 **Chaired by Takakazu Nakabayashi (Tohoku University)**

08B2 ○Yutaka Shibata (Tohoku University, Japan)

“Investigation of Natural Photosynthesis by Single Molecule Spectroscopy”

11:10 - 11:40 **Chaired by Takakazu Nakabayashi (Tohoku University)**

08B3 ○Kazunari Yoshida (Yamagata University, Japan)

“Influence of small molecules on 2D and 3D structures of lipid bilayer membranes”

13:00 - 13:50 **Chaired by Akihiro Morita (Tohoku University)**

08B4 ○Elsa C. Y. Yan (Yale University, USA) ★GP-Chem

“Probing Hydration Structures of Biomolecules at Interfaces”

13:50 - 14:20 **Chaired by Norifumi Yamamoto (Chiba Tech University)**

08B5 ○Daisuke Miyoshi, Mitsuki Tsuruta, Keiko Kawauchi (Konan University, Japan)

“Structure, stability, and interaction of nucleic acids under molecular crowding conditions”

14:20 - 14:50 **Chaired by Norifumi Yamamoto (Chiba Tech University)**

08B6 ○Norio Yoshida (Nagoya University, Japan)

“Statistical mechanics approach for chemical and biological processes in solution”

14:50 - 15:20 **Chaired by Norifumi Yamamoto (Chiba Tech University)**

08B7 ○Toshifumi Mori (Kyushu University, Japan)

“Theoretical study on the role of protein conformational dynamics during enzyme catalysis”

★…Graduate Program in Integrated Chemistry, Tohoku University

Physical Chemistry

Sep. 10th, 2023

Room B

Chaired by Masahiko Takahashi (Tohoku Univ.) and Yuki Yoshi Ohtsuki (Tohoku Univ.)

Sep. 10th (Sun.)

10:00 - 10:30 **Chaired by Yuki Yoshi Ohtsuki (Tohoku University)**

10B1 ○Fuminori Misaizu (Tohoku University, Japan)

“Structures and reactions in gas-phase ions studied by ion mobility-mass spectrometry”

10:30 - 10:50 **Chaired by Yuki Yoshi Ohtsuki (Tohoku University)**

10B2 ○Shinji Kajimoto (Tohoku University / JST PRESTO, Japan)

“In situ Quantification of Biomolecular Concentration in Stress Granules Formed via LLPS in a Living Cell”

10:50 - 11:10 **Chaired by Yuki Yoshi Ohtsuki (Tohoku University)**

10B3 ○Takakazu Seki (Hiroshima University, Japan)

“Interfacial charge and chemical environment viewed from surface-specific vibrational spectroscopy”

11:10 - 11:30 **Chaired by Yuki Yoshi Ohtsuki (Tohoku University)**

10B4 ○Miyabi Hiyama (Gunma University / The University of Tokyo, Japan)

“Experimental and theoretical study for analogs of firefly-bioluminescence substrate”

11:30 - 11:45 **Chaired by Yuki Yoshi Ohtsuki (Tohoku University)**

10B5 ○Daiki Shibata, Shinji Kajimoto, Takakazu Nakabayashi
(Tohoku University / JST PRESTO, Japan)

“Observation of the molecular and viscoelastic change in protein droplets formed by liquid-liquid phase separation using Raman-Brillouin imaging”

11:45 - 12:00 **Chaired by Yuki Yoshi Ohtsuki (Tohoku University)**

10B6 ○Sihan Long, Yuuki Onitsuka, Masahiko Takahashi (Tohoku University, Japan)

“Development of a new pharmacological index by using the molecular orbital wavefunction in momentum space”

14:45 - 15:15 Chaired by Masahiko Takahashi (Tohoku University)

10B7 ○Darryl B. Jones (Flinders University, Japan)

“Investigations into the electronic structure of molecules and materials ”

15:15 - 15:35 Chaired by Masahiko Takahashi (Tohoku University)

10B8 ○Hideo Ando, Yoshihide Nakao (Yamagata University / Kyushu Sangyo University, Japan)

“Nuclear Quantum Nature and Two-Site Disorder-Order Transition of Lithium in
[Li⁺@C₆₀]PF₆⁻”

15:35 - 15:55 Chaired by Masahiko Takahashi (Tohoku University)

10B9 ○Yukihiro Shimizu, Masaki Yamaura (Tohoku University, Japan)

“Electron theoretical studies of strong metal-support interaction in chemical reactions
on catalysts”

15:55 - 16:15 Chaired by Masahiko Takahashi (Tohoku University)

10B10 ○Takuya Horio (Kyushu University, Japan)

“Time-resolved photoelectron imaging of isolated molecules and metal cluster
anions”

16:15 - 16:30 Chaired by Masahiko Takahashi (Tohoku University)

10B11 ○Shota Tsuru (RIKEN Center for Computational Science / Ruhr-University Bochum, Japan)

“Excited-state dynamics unveiled by X-ray transient absorption spectroscopy”

16:30 - 16:45 Chaired by Masahiko Takahashi (Tohoku University)

10B12 ○Tomotaro Namba, Yuki Yoshi Ohtsuki (Tohoku University, Japan)

“Machine learning-based approach to predict control landscape maps of
laser-induced molecular alignment”

Materials Chemistry and Adhesion

Sep. 8th, 2023

Room C

Chaired by Hitoshi Kasai (Tohoku Univ.), Masaya Mitsuishi (Tohoku Univ.),
Yutaka Sato (Tohoku Univ.) and Hiroyuki Waki (Iwate Univ.)

Sep. 8th (Fri.)

10:00 - 10:30 Chaired by Hitoshi Kasai (Tohoku University)

08C1 ○Yutaka Maeda (Tokyo Gakugei University, Japan)

“Creation of near-infrared luminescent materials by chemical functionalization of single-walled carbon nanotubes”

10:30 - 11:00 Chaired by Jin Gong (Yamagata University)

08C2 ○Huie Zhu (Zhangjiang Laboratory / Tohoku University, China)

“Hybrid Cyclic Siloxane as Building Blocks for Functional Materials”

11:00 - 11:30 Chaired by Yutaka Sato (Tohoku University)

08C3 ○Hiroyuki Waki, Yudai Fujii, Kanta Adachi (Iwate University, Japan)

“Evaluation of deposition stress and segmented crack initiation in thermal spray coatings by in situ curvature monitoring”

11:30 - 12:00 Chaired by Yutaka Sato (Tohoku University)

08C4 ○Sylvain DANCETTE, Vito ACITO, Julien SCHEIBERT, Eric MAIRE, Davy DALMAS
(INSA Lyon / Ecole Centrale Lyon, Japan)

“Soft contact mechanics imaged in 3D by X-ray tomography”

Inorganic and Ceramic Materials

Sep. 8th - Sep. 10th, 2023

Room C

Chaired by Shu Yin(Tohoku Univ.) and Hidetoshi Saito (Nagaoka University of Technology)

Sep. 8th (Fri.)

13:00 - 13:25 Chaired by Shu Yin (Tohoku University)

08C5 ○Zijing Wang, Shu Yin

(Xi'an University of Science and Technology / Tohoku University, China)

“Study on Surface Modification and Gas Sensing Characteristics of MXene”

13:25 - 13:50 Chaired by Shu Yin (Tohoku University)

08C6 ○Ardiansyah Taufik, Akira Yoko, Tadafumi Adschiri (Tohoku University, Japan)

“Surface structure and facet engineering of WO₃ layer through high protonation
for improving photocatalytic performance”

13:50 - 14:15 Chaired by Shu Yin (Tohoku University)

08C7 ○Kongjun Zhu, Pengcheng Liu, Penghua Liang, Jing Wang, Kang Yan

(Nanjing University of Aeronautics and Astronautics, China)

“Preparation and Electrochemical Performance of Vanadium-Based Oxides Electrode
Materials”

Sep. 10th (Sun.)

14:45 - 15:10 Chaired by Hidetoshi Saito (Nagaoka University of Technology)

10C1 ○ Thitikorn Chamchaung, Keiji KOMATSU, Hidetoshi SAITOH

(Nagaoka University of Technology, Japan)

“Application of SXES technique for determining sp² fraction of DLC films”

Young Chemists Symposium

Sep. 8th, 2023

Room D

Chaired by Fuminori Misaizu (Tohoku Univ.) and Yasushi Numata (Nihon Univ.)

Sep. 8th (Fri.)

11:00 - 11:30 **Chaired by Fuminori Misaizu (Tohoku University)**

08D1 ○Kohsuke Kawabata, Kazuo Takimiya (Tohoku University / RIKEN CEMS, Japan)

“Design and synthesis of organic semiconductors incorporating electron-deficient
quinoidal acenedichalcogenophenediones”

13:00 - 13:30 **Chaired by Fuminori Misaizu (Tohoku University)**

08D2 ○Tomosato Hioki (The University of Tokyo / Tohoku University, Japan)

“Exploration of spin and lattice order excitation by ultrafast imaging”

13:35 - 14:05 **Chaired by Yasushi Numata (Nihon University)**

08D3 ○Yukihiko Satou (Japan Atomic Energy Agency, Japan)

“Chemical species of discharged radioactive materials in the Fukushima Daiichi
Power Station accident”

14:10 - 14:40 **Chaired by Fuminori Misaizu (Tohoku University)**

08D4 ○Daiki Asakawa (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology,
Japan)

“Development of Thermometer Ions for the Measurement of Internal Energy
Distribution of Ions in Gas Phase”

Catalytic Chemistry for Carbon Neutrality

Sep. 10th, 2023

Room D

Chaired by Keiichi Tomishige (Tohoku Univ.)

Sep. 10th (Sun.)

10:00 - 10:15 **Chaired by Mizuho Yabushita (Tohoku University)**

10D1 ○Yoshinao Nakagawa (Tohoku University, Japan)

“Regioselective C-O hydrogenolysis of biomass-derived polyols”

10:15 - 10:30 **Chaired by Mizuho Yabushita (Tohoku University)**

10D2 ○Chao Gai, Zhengang Liu (Chinese Academy of Science / Tohoku University, China)

“Steering biomass waste to value-added biofuels under facile condition by hydrochar-based nanocatalysts”

10:30 - 11:00 **Chaired by Mizuho Yabushita (Tohoku University)**

10D3 ○Noritatsu Tsubaki (University of Toyama, Japan)

“New Synthesis Reactions by Tailor-Made Catalysts in CO/CO₂ Hydrogenation”

11:00 - 11:30 **Chaired by Mizuho Yabushita (Tohoku University)**

10D4 ○Yasushi Sekine (Waseda University, Japan)

“Surface protonics promotes low temperature catalysis”

11:30 - 12:00 **Chaired by Mizuho Yabushita (Tohoku University)**

10D5 ○Hiroshi Kondoh (Keio University, Japan)

“Catalytically Active Surfaces Observed by *In Situ* Surface Spectroscopy”

12:00 - 12:30 **Chaired by Yoshinao Nakagawa (Tohoku University)**

10D6 ○Kevin C.-W. Wu

(National Taiwan University / National Health Research Institutes, Taiwan)

“Nanoporous Metal-Organic Frameworks (MOFs) Catalysts for Biomass and Plastics Conversion”

14:15 - 14:30 **Chaired by Yoshinao Nakagawa (Tohoku University)**

10D7 ○Mizuho Yabushita (Tohoku University, Japan)

“CeO₂-Catalyzed Transformation of Amine Carbamates into Value-Added

Chemicals”

14:30 - 14:45 Chaired by Yoshinao Nakagawa (Tohoku University)

10D8 ○Ziwei Song, Lijuan Liu, Xu Zhu (Yanshan University / Tohoku University, China)

“Selective Conversion of Cellulose over Na-ZSM-5: Effect of Basic Sites”

14:45 - 15:15 Chaired by Yoshinao Nakagawa (Tohoku University)

10D9 ○Masazumi Tamura (Osaka Metropolitan University, Japan)

“Development of Ru-based catalysts for hydrogenolysis of plastic wastes to valuable chemicals”

15:15 - 15:45 Chaired by Yoshinao Nakagawa (Tohoku University)

10D10 ○Yutaka Amao (Osaka Metropolitan University, Japan)

“Visible-light driven biodegradable polymer precursor synthesis from gaseous CO₂ using photo/biocatalytic system”

15:45 - 16:15 Chaired by Masazumi Tamura (Osaka Metropolitan University)

10D11 ○Akira Nakayama (The University of Tokyo, Japan)

“Microscopic Understanding of Interface at Liquid/Solid-Oxide and Molecular Adsorption on the Surface by Neural Network Potentials”

16:15 - 16:45 Chaired by Masazumi Tamura (Osaka Metropolitan University)

10D12 ○Susumu Saito (Nagoya University, Japan)

“Catalytic Hydrogenation of Carboxylic Acids Using Tailored Molecular Catalysts”

Nanomaterials Colloquium
Sep. 8th - Sep. 10th, 2023
Room E

Chaired by Tatsuya Takeguchi (Iwate Univ.) and Nobuki Ozawa (Tohoku Univ.)

Sep. 8th (Fri.)

13:00 - 13:30 Chaired by Tatsuya Takeguchi (Iwate University)

08E1 ○Lixin Xiao (Peking University, China) ★GP-Chem

“Highly efficient electron-transporting materials for OLEDs”

13:30 - 14:00 Chaired by Tatsuya Takeguchi (Iwate University)

08E2 ○Mitsuharu Chisaka, Tatsuya Takeguchi (Hirotsuki University / Iwate University, Japan)

“Carbon-support-free Nano Catalysts for Polymer Electrolyte Fuel Cells”

14:00 - 14:30 Chaired by Tatsuya Takeguchi (Iwate University)

08E3 ○Atsuo Nakazaki (Iwate University, Japan)

“Synthesis of highly oxygenated terpenoids aiming at elucidation of their new functions”

Sep. 10th (Sun.)

14:45 - 15:15 Chaired by Nobuki Ozawa (Tohoku University)

10E1 ○Tomoki Uchiyama (Tohoku University, Japan)

“Synchrotron X-ray Analysis For Fuel Cell Catalysts Development”

15:15 - 15:45 Chaired by Nobuki Ozawa (Tohoku University)

10E2 ○Yixin Su, Shogo Fukushima, Yuta Asano, Yusuke Ootani, Nobuki Ozawa, Momiji Kubo
(Tohoku University, Japan)

“Reactive Molecular Dynamics Simulations Elucidating the Impact of Carbon Nanotube (CNT) Defects on the Mechanical Properties of CNT/SiC Composites”

★…Graduate Program in Integrated Chemistry, Tohoku University

Process Technologies and Systems Design for Green Chemistry

Sep. 8th, 2023

Room F

Chaired by Hideyuki Aoki (Tohoku Univ.), Takeru Goto (Akita Univ.),
Yasuhiro Fukushima (Tohoku Univ.) and Naomi Kitakawa (Tohoku Univ.)

Sep. 8th (Fri.)

10:00 - 10:40 **Chaired by Naomi Kitakawa (Tohoku University)**

08F1 Dwini Normayulisa Putri, Muhamad Sahlan, ○Heri Hermansyah

(Faculty of Engineering, University of Indonesia, Indonesia)

“Modification of the Pretreatment and Synthesis Process for Succinic Acid
Production from Lignocellulosic Biomass”

10:40 - 11:20 **Chaired by Naomi Kitakawa (Tohoku University)**

08F2 Sunghak Choi, Yeonghwan Son, Hoon Eui Jeong, ○Ho-Sup Jung ★GP-Chem

(Seoul National University / UNIST / Nbiocell, Korea)

“Design of Nanocarrier for Improving Transdermal Delivery of Non-water-soluble
Compounds”

11:20 - 12:00 **Chaired by Yasunao Fukushima (Tohoku University)**

08F3 ○Tsai-Wei Wu (Tohoku University, Japan)

“GHG Emission Evaluation and Process Intensification for Different Routes of
Diphenyl Carbonate Production”

★…Graduate Program in Integrated Chemistry, Tohoku University

Electrochemistry

Sep. 10th, 2023

Room G

Chaired by Hitoshi Takamura (Tohoku Univ.) and Tsukasa Yoshida (Yamagata Univ.)

Sep. 10th (Sun.)

10:00 - 10:30 Chaired by Tsukasa Yoshida (Yamagata University)

10G1 ○Wojciech Nogala (Polish Academy of Sciences, Poland)

“Size matters: micro- and nanoscale electroanalysis and electrochemical fabrication”

10:30 - 11:00 Chaired by Tsukasa Yoshida (Yamagata University)

10G2 ○Manabu Ishizaki, Masato Kurihara (Yamagata University, Japan)

“Water-Oxidation Catalytic Activity of FeNi-Layered Double Hydroxide Nanoflakes”

11:00 - 11:30 Chaired by Hitoshi Takamura (Tohoku University)

10G3 ○Reiichi Chiba, Takuya Eguchi, Kimitaka Watanabe (Nihon University, Japan)

“SOFC cathode materials based on $\text{LaNi}_{0.6}\text{Fe}_{0.4}\text{O}_3$ ”

11:30 - 12:00 Chaired by Hitoshi Takamura (Tohoku University)

10G4 ○Yuji Matsumoto (Tohoku University, Japan)

“Vacuum Engineering of Ionic Liquid as Advanced Technology for Electrochemical Device Integration”

Analytical Chemistry

Sep. 8th, 2023

Room H

Chaired by Seiichi Nishizawa (Tohoku Univ.) and Yoshitaka Takagai (Fukushima Univ.)

Sep. 8th (Fri.)

10:00 - 10:35 **Chaired by Yoshitaka Takagai (Fukushima University)**

08H1 ○Willie L. Hinze (Wake Forest University, USA)

“Utilization of Surfactant & Micellar Media in Chemical Analysis & Separation Science: Opportunities & Challenges”

10:35 - 11:10 **Chaired by Seiichi Nishizawa (Tohoku University)**

08H2 Yue Zheng, Yiwen Ding, Yu Xiang, ○Aijun Tong (Tsinghua University, China)

“Fluorescent Probes for Lipid Order Changes and Selective Fluorescent Labeling of Plasmalogens in Human Plasma Lipids”

11:20 - 11:55 **Chaired by Tomoyuki Oe (Tohoku University)**

08H3 ○Yasushi Ishihama (Kyoto University, Japan)

“Challenges toward high-speed, high-sensitivity and in-depth analysis of the human proteome”

13:00 - 13:10 **Chaired by Nobuhiko Iki (Tohoku University)**

08H4 ○Fumihiko Kitagawa (Hiroshima University, Japan)

“Highly sensitive microchip electrophoresis by combining two on-line sample preconcentration techniques, LDIS and FASI”

13:10 - 13:00**Chaired by Nobuhiko Iki (Tohoku University)**

08H5 ○Masafumi Odaka, Hirotohi Matsumura, Aya Kiriake, Nobuaki Ogawa
(Akita University, Japan)

“Introduction of Bio-analytical and Bio-Structural chemistry laboratory in Akita University”

13:20 - 13:30 **Chaired by Nobuhiko Iki (Tohoku University)**

08H6 ○Toshio Kamijo (National Institute of Technology, Tsuruoka college, Japan)

“Development of functional materials using ionic liquids”

13:30 - 13:40 Chaired by Nobuhiko Iki (Tohoku University)

08H7 ○Tetsuji Itoh (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, Japan)

“High-resolution protein observation utilizing carbon materials: advancement and device application.”

13:40 - 13:50 Chaired by Nobuhiko Iki (Tohoku University)

08H8 ○Tsutomu Fujimura (Tohoku Medical and Pharmaceutical University, Japan)

“Exploring biomarkers for urothelial carcinoma”

13:50 - 14:00 Chaired by Nobuhiko Iki (Tohoku University)

08H9 ○Mika Tada (Tohoku Institute of Technology, Japan)

“Analytical Chemistry related to Investigating Oxidative damages and Antioxidants”

14:10 - 14:20 Chaired by Hitoshi Shiku (Tohoku University)

08H10 ○Masatoshi Endo, Maho Ishiyama, Erina Satake, Atsushi Sasaki, Shigekazu Yano (Yamagata University, Japan)

“Inactivation Effect for Virus of Hypochlorous Acid Solution Containing Nitrogen Compounds”

14:20 - 14:30 Chaired by Hitoshi Shiku (Tohoku University)

08H11 ○Tomoyuki Oe (Tohoku University, Japan)

“Introduction to our research”

14:30 - 14:40 Chaired by Hitoshi Shiku (Tohoku University)

08H12 ○Shogo Kumagai, Atsushi Watanabe, Chuichi Watanabe, Norio Teramae, Toshiaki Yoshioka (Tohoku University / Frontier Laboratories, Japan)

“Application of tandem μ -reactor-gas chromatograph system for the development of pyrolysis processes for chemical feedstock recovery from plastics”

14:40 - 14:50 Chaired by Hitoshi Shiku (Tohoku University)

08H13 ○Takeshi Kato (National Institute of Technology, Fukushima College, Japan)

“Effective heavy metals analysis by fusion of droplet and hand-held X-ray fluorescence spectrometer”

14:50 - 15:00 Chaired by Hitoshi Shiku (Tohoku University)

08H14 ○Yoshitaka Takagai (Fukushima University, Japan)

“Mass-spectrometric analysis of radionuclides in environment”

Polymers and Environment

Sep. 10th, 2023

Room H

Chaired by Takehiko Wada (Tohoku Univ.), Nobukatsu Nemoto (Nihon Univ.),
Atsushi Kobayashi (Nihon Univ.) and Daisuke Takeuchi (Hiroasaki Univ.)

Sep. 10th (Sun.)

14:45 - 15:30 **Chaired by Masaya Mitsuishi (Tohoku University)**

10H1 ○Hiroshi Uyama (Osaka University, Japan)

“Environmentally Friendly Materials Using Biomass Resources”

15:30 - 16:00 **Chaired by Masaya Mitsuishi (Tohoku University)**

10H2 ○Hiroshi Yabu (Tohoku University / AZUL Energy, Inc., Japan)

“High performance electrocatalysts from metal azapthalocyanines and biomass
resources”

16:00 - 16:45 **Chaired by Masaya Mitsuishi (Tohoku University)**

10H3 ○Toshiaki Yoshioka (Tohoku University, Japan)

“Plastics Material Cycle Strategy Supporting Carbon Neutrality”

Macromolecules for Pharmaceuticals

Sep. 8th, 2023

Room I

Chaired by Takehiko Wada (Tohoku Univ.), Nobukatsu Nemoto (Nihon Univ.),
Atsushi Kobayashi (Nihon Univ.) and Daisuke Takeuchi (Hiroshima Univ.)

Sep. 8th (Fri.)

10:00 - 10:30 **Chaired by Takehiko Wada (Tohoku University)**

08I1 ○Masaya Yamamoto (Tohoku University, Japan)

“Hydrogel-based tissue engineering for stem cell specification and microplastic toxicology”

10:30 - 11:00 **Chaired by Atsushi Kobayashi (Nihon University)**

08I2 ○Tomohiro Konno, Kasumi Ariake, Masaki Harada, Ryoko Hosaka, Sachi Moriwaki
(Tohoku University, Japan)

“Multi-dimensional and seamless biointerface based on dynamic covalent bonds in cytocompatible polymer”

11:00 - 11:30 **Chaired by Atsushi Kobayashi (Nihon University)**

08I3 ○Koji Yonekura (Tohoku University / RIKEN, Japan)

“Cryo-electron microscopy for chemical analysis”

11:30 - 12:00 **Chaired by Atsushi Kobayashi (Nihon University)**

08I4 ○Masaru Tanaka (Kyushu University, Japan)

“Design of Multi-functional Polymeric Biomaterials Based on the Intermediate Water Concept”

13:00 - 13:45 **Chaired by Takehiko Wada (Tohoku University)**

08I5 ○Kyeong Kyu Kim (Sungkyunkwan University School of Medicine, Korea) ★GP-Chem

“Strategies to Overcome the Antimicrobial Resistance”

13:45 - 14:15 **Chaired by Takehiko Wada (Tohoku University)**

08I6 ○Asako Yamayoshi (Nagasaki University, Japan)

“Development of Novel Nucleic Acid Drugs targeting non-coding Genes and Material Symbiosis”

14:15 - 15:00 Chaired by Takehiko Wada (Tohoku University)

08I7 ○Shiroh Futaki (Kyoto University, Japan)

“Attenuated Cationic Lytic Peptides for Intracellular Delivery”

★…Graduate Program in Integrated Chemistry, Tohoku University

Next Generation Nanodevices and Polymeric Materials

Sep. 10th, 2023

Room I

Chaired by Takehiko Wada (Tohoku Univ.), Nobukatsu Nemoto (Nihon Univ.),
Atsushi Kobayashi (Nihon Univ.) and Daisuke Takeuchi (Hirosaki Univ.)

Sep. 10th (Sun.)

10:00 - 10:45 Chaired by Takehiko Wada (Tohoku University)

10I6 ○Hiroshi Jinnai (Tohoku University, Japan)

“Nanoscale Structural Analysis of Polymer Crystals Using Advanced Electron Microscopy”

10:45 - 11:15 Chaired by Daisuke Takeuchi (Hirosaki University)

10I2 ○Jun Matsui (Yamagata University, Japan)

“Self-assembled structure formation in homo and random copolymers films by
nanophase separation”

11:15 - 12:00 Chaired by Takehiko Wada (Tohoku University)

10I3 ○Kazushi Kinbara (Tokyo Institute of Technology, Japan)

“Development of Multi-Functional Synthetic Ion-Channels”

14:45 - 15:30 Chaired by Takehiko Wada (Tohoku University)

10I4 ○Kazunari Akiyoshi (Kyoto University, Japan)

“Self-assembled nanomaterials of carbohydrate-based polymers for biomedical
application”

15:30 - 16:00 Chaired by Daisuke Takeuchi (Hirosaki University)

10I5 ○Akito Masuhara, Ryota Sato, Naoaki Oshita (Yamagata University, Japan)

“Controlling and Maintaining Emission Wavelength in Perovskite Quantum Dots:
A Pathway towards Efficient Photonic Devices”

16:00 - 16:45 Chaired by Takehiko Wada (Tohoku University)

10I1 ○Reiko Oda, Peizhao Liu, Zakaria Anfar, Piyanan Pranee, Yutaka Okazaki, Yann Battie,
Emilie Pouget, Sylvain Nlate, Takashi Sagawa

(Université de Bordeaux / Tohoku University / Kyoto University

/ Université de Lorraine, Japan)

“Chiral Nanocrystals Growth Inside Helical Hollow Silica Nanoribbons enantioselective
recognition”

化学教育研究協議会東北大会

9月10日(日) 9:30~12:15 F会場

【化教一般口頭】

10F1 9:30-9:45 座長：栗山恭直（山形大理）

「化学教育における3Dデジタルコンテンツの教材化と実践」

佐々木碧斗，若生晶，中久保萌織，反畑爽，○笠井香代子
（岩沼小，大野田小，宮城野高，宮教大院，宮教大教育）

【化教一般口頭】

10F2 9:45-10:00 座長：栗山恭直（山形大理）

「アンモニア燃料の教材化の検討」

○杉江瞬，長南幸安（弘前大院地域社会，弘前大教育）

【招待講演】

10F3 10:00-10:40 座長：猿渡英之（宮教大）

「糖類の還元性の原因となる構造」

○井上正之（東京理科大理）

【依頼講演】

10F4 10:40-11:00 座長：猿渡英之（宮教大）

「名取北高校DX計画における一人一台端末を活用した化学基礎の授業」

○小野順子（名取北高）

（11:00-11:15 休憩）

【化教一般口頭】

10F5 11:15-11:30 座長：笠井香代子（宮教大）

「マイクロスケール実験によるモール法の提案」

○片岡久美子，山田一幸，荻野和子
（清泉女学院中高，筑波大附属桐が丘特別支援学校，東北大院理）

【化教一般口頭】

10F6 11:30-11:45 座長：笠井香代子（宮教大）

「肢体不自由生徒を対象としたマイクロスケール実験
～中学校理科の化学分野で扱う質量測定が関わる実験を行う際の工夫～」

○山田一幸，荻野和子（筑波大附属桐が丘特別支援学校，東北大院理）

【化教一般口頭】

10F7 11:45-12:00 座長：笠井香代子（宮教大）

「山形大学における小中高校生を対象としたSTEAM教育の取り組み」

○安達茜，栗山恭直（山形大STEAM，山形大理）

【化教一般口頭】

10F8 12:00-12:15 座長：笠井香代子（宮教大）

「STEAM教育を指向した次世代化学教育研究会の試みと
アーカイブの制作」

○渡辺尚（宮教大）

【ポスター発表】

2P196 カタツムリを超えるやわらかい防汚材料の研究

(仙台一高，東北大院工)○大島優花，○小野心寧，○風間ゆう，
阿部博弥，西澤松彦

2P197 水酸化鉄（Ⅲ）コロイド生成におけるガラス着色の研究

(仙台三高)○工藤優之介，渡邊彬仁，濱島航宙

2P198 塩化ナトリウムの貧溶媒を用いた再結晶

(仙台三高)○井上風子

2P200 白金触媒の水素燃焼反応に迫る

(仙台三高)○大場誠也，志田京太郎

2P201 黄金に輝く紅について

(仙台三高)○榊原真人，志賀太一

2P202 マイクロプラスチックについて（第三報）

(八戸工大二高，八戸工大工)○中村奏良，向井田祐希，笹本千滋，川井桃花，
妻神藍璃，寺口旺佑，田中蒼空，田多美空，北村雪都，田代誠，
越後喜代志，鶴田猛彦

2P204 中学校化学分野におけるデジタル端末と

3D プリンタ教材を用いた授業実践

(宮教大院，宮教大教育)○反畑爽，笠井香代子

2P205 ペーパークロマト濾紙を利用した電気泳動

(仙台青陵中等教育学校)○平子修至，佐藤弘忠，富士智生，
津田慶音，窪田篤人

2.5 懇親会

本大会の懇親会は、大会 2 日目の 9 月 9 日（土）18:30 より東北大学川内北キャンパス川内の杜ダイニング 及び キッチンテラスクルールにて懇親会が開催された。招待 22 名を含む 143 名の出席があり、懇親を深めることができた。また、会場では「柴田三兄妹」より津軽三味線の披露がなされ、会場の雰囲気盛り上げた。

【次第】（18:30～20:30）

懇親会司会進行：蟹江 澄志 先生（東北大学 SRIS 教授）

1. 東北大学総長の挨拶
大野 英男 先生（東北大学 総長）
2. 日本化学会会長の挨拶・乾杯音頭
菅 裕明 先生（日本化学会会長、東京大学 教授）
3. 来賓挨拶
大草 芳江 様（natural science 理事）
Martin G. Banwell 先生（Jinan University 教授）
Brian M. Stoltz 先生（カリフォルニア工科大学 教授）
Kevin C.-W. Wu 先生（国立台湾大学 教授）

<余興> 柴田三兄妹 津軽三味線（20 分）－

4. 次期大会実行委員長の挨拶
後藤 猛 先生（秋田大学 教授）
5. 中締め挨拶・一本締めの発声
美齊津 文典 先生（東北大学 教授）

<懇親会登録者数>

一般/学生	招待	計
121 名	22 名	143 名

2.6 優秀ポスター賞授賞式・閉会式

本大会の最後 9 月 10 日（日）16：55 から、青葉山コモンズ大講義室（A 会場）及びオンラインにて閉会式が行われた。ポスター発表 404 件の内、審査希望 346 件の中から、厳正な審査を経て、10 件の RSC ポスター賞、52 件の優秀ポスター賞が選ばれ、授与式で受賞者名が披露された。なお、表彰状は後日、郵送された。

【次第】進行：北本雄一 先生（東北大院工）

1. 日本化学会東北支部長挨拶 富重圭一 先生（東北大院工）
2. 英国王立化学会 日本マネージャー挨拶
Antony Galea 様 (Royal Society of Chemistry)
3. 優秀ポスター賞受賞者発表 北本雄一 先生（東北大院工）
4. 次期大会実行委員長挨拶 後藤 猛 先生（秋田大）
5. 閉会挨拶 林 雄二郎先生（東北大院理）

〈優秀ポスター賞 受賞者一覧〉 優秀ポスター賞：52 件

A. 無機/分析 /環境化学 8 件	1P004 楠裕翔(福島大理工)	C. 有機化学 14 件	2P057 波多野裕太郎(東北大院理)
	1P012 野田紗伽(東北大多元研)		2P062 川森有沙(東北大多元研)
	2P007 吉田謙伸(山形大院理工)		2P073 サラサルゴメスウゴアルベ ルト(東北大院理)
	2P011 梶原尚樹(東北大院理)		2P075 渡邊敬太郎(東北大院理)
	2P016 大濱康平(東北大院環境)		2P077 下平貫太(東北大院薬)
	2P019 中林優輔(東北大院工)		2P086 佐藤航太郎(山形大院有機)
	2P026 LiuQingshan(東北大多元研)		2P095 井上雄貴(東北大院生命)
	2P029 Qiuyu CHENG(東北大多元研)		
B. 物理化学 6 件	1P032 千葉康平(日大院工)	D. 化学工学 6 件	1P125 大庭大樹(東北大院工)
	1P041 深瀬貴代(山形大院理工)		1P132 吉田知夏(東北大院工)
	1P047 秋保恭平(山形大院理工)		1P144 森陽菜乃(東北大院工)
	2P041 大石直人(山形大院理工)		1P147 Yu Su (東北大院工)
	2P043 遠藤寿弥(東北大院工)		1P151 古川孝士(東北大院工)
	2P207 佐藤千慧(東北大院工)		1P153 加藤育美(東北大院工)
C. 有機化学 14 件	1P051 志水颯真(東北大院生命)	E. 高分子化学 /繊維化学 6 件	1P160 宮川寛世(山形大院有機)
	1P059 劉奔(東北大院工)		1P170 四戸玲那(山形大院有機)
	1P067 築地健人(東北大院薬)		1P182 小野田航季(東北大院薬)
	1P071 岩田真輝(東北大院薬)		2P128 吉田直輝(東北大院工)
	1P076 岩崎然(東北大院理)		2P131 菊地真魚(山形大院理工)
	1P083 米満和貴(東北大院薬)		2P135 大毛瑞貴(山形大院理工)
	1P111 二宮大悟(東北大院薬)		

F. 材料化学 6 件	1P183 千田知香(岩手大院理工)	G. 電気化学 3 件	2P175 須藤光流(岩手大院理工)
	1P192 夏天(東北大多元研)		2P180 川崎栞(東北大多元研)
	1P198 程偉(東北大多元研)		2P185 中村天彰(山形大院有機)
	2P158 菱沼陽(東北大院理)	H. 化学教育 3 件	2P196 大島優花(仙台一高)
	2P160 和田将平(東北大院理)		2P200 大場誠也(仙台三高)
	2P164 富永征宏(東北大多元研)		2P202 中村奏良(八戸工大二高)

〈RSC ポスター賞 受賞者一覧〉 RSC ポスター賞：10 件

<i>Biomater. Sci.</i>	1P180 柳沼涼祐(日大工)
<i>Dalton Trans.</i>	2P024 洪培瑄(東北大多元研)
<i>Green Chem.</i>	1P027 石田紘平(秋田大院理工)
<i>Inorg. Chem. Front.</i>	2P173 吉田朗子(東北大多元研)
<i>Lab on a Chip</i>	1P001 岡田正大(東北大院理)
<i>Mater. Horiz.</i>	2P152 清水碩人(山形大院理工)
<i>Org. Biomol. Chem.</i>	1P100 駒形颯大(東北大院工)
<i>Phys. Chem. Chem. Phys.</i>	1P044 澁谷蓮(東北大院薬)
<i>Polym. Chem.</i>	2P122 保坂涼子(東北大院薬)
<i>React. Chem. Eng.</i>	2P120 大野誠尚(東北大院工)

3. おわりに

令和5年度の化学系学協会東北大会および日本化学会東北支部80周年記念国際会議は日本化学会東北支部を主催とし、高分子学会東北支部、日本分析化学会東北支部、化学工学会東北支部、有機合成化学協会東北支部、電気化学会東北支部、日本材料学会東北支部、繊維学会東北北海道支部、無機マテリアル学会北部支部、分子科学会東北地区、日本セラミックス協会東北北海道支部、日本接着学会東北・北海道支部、さらに、高等学校文化連盟全国自然科学専門部、ならびに東北大学、統合化学国際共同大学院(GP-Chem)の共催、そして青森県教育委員会、岩手県教育委員会、宮城県教育委員会、山形県教育委員会、秋田県教育委員会、福島県教育委員会、仙台市教育委員会のご後援をいただき東北大学で開催され、9月8日～10日の3日間にわたるすべてのスケジュールを盛況のうちに終了することができました。

本大会では6件の特別講演と37件の招待講演、さらに68件の依頼講演が行われ、化学教育協議会を含めて10会場で活発な議論が行われました。特別講演では、東北大学名誉教授の福村裕史先生、NP0法人natural scienceの大草芳江様、Pohang University of Science and TechnologyのYoung-Tae Chang先生、Edinburgh UniversityのNeil Robertson先生、Jinan UniversityのMartin Banwell先生、National Taiwan UniversityのKevin C.-W. Wu(SP)先生、公益社団法人日本化学会会長で東京大学大学院理学系研究科教授の菅裕明先生、そしてCalifornia Institute of TechnologyのBrian M. Stoltz先生の8名をお招きし、それぞれ貴重な内容をご講演いただきました。

また、発表の主体となるポスターセッションには404件の発表があり、それぞれの分野において活発な議論が展開されました。厳正な審査によりその中で特に優れた発表52件にポスター賞、および10件にRSC賞が授与されました。

また、化学教育研究協議会東北大会が東北大会のひとつのセッションとして開催され、招待講演1件、依頼講演1件、口頭6件、ポスター8件の発表がありました。

最近の東北大会では、東北大会の英語化と中高生に開かれた大会を達成目標に掲げています。本年度は国際会議ということもあり、英語化推進の大幅に達成されたと考えられます。また、高等学校および中学校からご発表をいただきました。来年度以降も、多数の高校生および中学生がご参加される東北大会になることを期待しております。

今年度は4年ぶりに立食形式の懇親会を実施しました。多くの方々に参加していただき、感謝申し上げます。余興として、宮城の柴田三兄妹による津軽三味線が披露され、会場を盛り上げていただきました。

また、大会の準備段階から大会開催、そして閉会後の残務整理・事務処理・報告書作成まで、すべてにわたってご指導いただいた日本化学会東北支部長の富重圭一先生(東北大学大学院工学研究科)ならびに東北支部事務局のスタッフの皆様にも心より御礼申し上げます。

今回の東北大会では、多くの企業より予稿集への広告掲載(23件)、大会ホームページへのバナー広告掲載(23件)およびブース出展(9件)のかたちで協賛をいただきました。このように多くの企業様から多大なるご支援を

頂いたことに対し心より御礼申し上げます。さらに、東北大会実行委員の皆様、東北大学のアルバイト学生など大会運営にご協力いただいたすべての皆様に感謝いたします。

今回の東北大会は秋田大学の後藤猛先生を実行委員長として、令和 6 年 9 月 14 日～15 日の日程で開催される予定です。次回大会のさらなるご成功を祈念しつつ次期大会に引き継がせていただきます。最後になりますが、改めまして御礼申し上げます。

令和 5 年 10 月 13 日

令和 5 年度化学系学協会東北大会および

日本化学会東北支部 80 周年記念国際会議実行委員長

林雄二郎（東北大学大学院理学研究科）

令和5年度化学系学協会支部長（各セッション講演者推薦担当）

日本化学会東北支部長	富重圭一（東北大院工）
化学工学会東北支部長	後藤猛（秋田大）
無機マテリアル学会北部支部長	殷 澍（東北大多元研）
繊維学会東北・北海道支部長	松葉豪（山形大院有機）
高分子学会東北支部長	和田健彦（東北大多元研）
日本材料学会東北支部長	佐藤裕（東北大院工）
日本分析化学会東北支部長	大江知行（東北大院薬）
有機合成化学協会東北支部長	服部徹太郎（東北大院工）
電気化学会東北支部長	高村仁（東北大院工）
分子科学会東北地区担当	高橋正彦（東北大多元研）
日本セラミックス協会東北北海道支部	斎藤秀俊（長岡技科大）
日本接着学会東北・北海道支部	笠井均（東北大多元研）

令和5年度化学系学協会東北大会および

日本化学会東北支部 80 周年記念国際会議・化学教育研究協議会東北大会 実行委員会

大会実行委員長	林雄二郎（東北大院理）
令和5年度支部長	富重圭一（東北大院工）
化学教育議長	森田明弘（東北大院理）
大会庶務幹事長	伊野浩介（東北大院工）
支部幹事長	北本雄一（東北大院工）
大会会計	三ツ石方也（東北大院工）
無機化学セッションオーガナイザー	殷シュウ（東北大多元研）
分析・環境化学セッションオーガナイザー	西澤精一（東北大院理）
分析・環境化学セッションオーガナイザー	高貝慶隆（福島大共生）
物理化学セッションオーガナイザー	高橋正彦（東北大多元研）
物理化学セッションオーガナイザー	大槻幸義（東北大院理）
有機化学セッションオーガナイザー	服部徹太郎（東北大院工）
有機化学セッションオーガナイザー	近藤慎一（山形大理）
高分子・繊維化学セッションオーガナイザー	和田健彦（東北大多元研）
高分子・繊維化学セッションオーガナイザー	根本修克（日大工）
化学工学セッションオーガナイザー	青木秀之（東北大院工）
化学工学セッションオーガナイザー	後藤猛（秋田大院理工）
化学工学セッションオーガナイザー	福島康裕（東北大院工）
化学工学セッションオーガナイザー	北川尚美（東北大院工）
材料化学セッションオーガナイザー	佐藤裕（東北大院工）
材料化学セッションオーガナイザー	脇 裕之（岩手大理工）
電気化学セッションオーガナイザー	高村仁（東北大院工）
電気化学セッションオーガナイザー	吉田司（山形大院有機）
セラミックスセッションオーガナイザー	斎藤秀俊（長岡技科大）
接着セッションオーガナイザー	笠井均（東北大多元研）
接着セッションオーガナイザー	三ツ石方也（東北大院工）

生体分子化学セッションオーガナイザー
生体分子化学セッションオーガナイザー
若手シンポジウムセッションオーガナイザー
若手シンポジウムセッションオーガナイザー
有機化学コロキウムセッションオーガナイザー
有機化学コロキウムセッションオーガナイザー
物理化学コロキウムセッションオーガナイザー
物理化学コロキウムセッションオーガナイザー
高分子コロキウムセッションオーガナイザー
高分子コロキウムセッションオーガナイザー
ナノマテリアルコロキウムセッションオーガナイザー
ナノマテリアルコロキウムセッションオーガナイザー
実行委員会特別企画セッションオーガナイザー
化学教育研究協議会東北大会セッションオーガナイザー
化学教育研究協議会東北大会セッションオーガナイザー
実行委員
実行委員
実行委員
実行委員
実行委員
実行委員
実行委員
実行委員
実行委員
実行委員
実行委員
実行委員
実行委員
実行委員
実行委員
実行委員
日本化学会東北支部事務局
日本化学会東北支部事務局

和田健彦(東北大多元研)
小林厚志(日大工)
美齊津文典(東北大院理)
沼田靖(日大工)
土井隆行(東北大院薬)
齋藤義雄(日大工)
中林孝和(東北大院薬)
山本典史(千葉工業大)
竹内大介(弘前大理工)
和田健彦(東北大多元研)
竹口竜弥(岩手大理工)
尾澤伸樹(東北大金研)
富重圭一(東北大院工)
猿渡英之(宮教大)
森田明弘(東北大院理)
蟹江澄志(東北大学 SRIS)
伊野浩介(東北大院工)
薮下瑞帆(東北大院工)
西澤精一(東北大院理)
丸山伸伍(東北大院工)
熊谷将吾(東北大院環境)
菅恵嗣(東北大院工)
福島潤(東北大院工)
石田真太郎(東北大院理)
山本俊介(東北大院工)
渡部花奈子(東北大院工)
平賀佑也(東北大院工)
和氣駿之(東北大院工)
大槻幸義(東北大院理)
滝澤博胤(東北大院工)
山下まり(東北大院農)
千葉依巳^{*}
熊谷沙緒理^{*}

* 本報告書の編集作業担当者